

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせた作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

**エントリー学校名：**熊本大学教育学部附属中学校

**活動名：**教科等横断的な授業づくり～思考力育成を目指す研究の取り組み～

**解決すべき課題：**本校は「互いに響き合う、心豊かな附中生」の学校教育目標のもと、研究を行ってきた。しかし、図1に示す通り、各教科と総合的な学習の取り組みに乖離が見られ、それを繋ぐ教科を位置づけるために、学校全体としてどのような取組が有効か、教科間でどのような連携が行えるのか、また、育成すべき資質・能力に準拠した評価をどのように行ったらよいか等の実践研究を行う必要性を感じていた。

**目標・方針：**各教科と総合的な学習をつなぐ教科の位置づけと評価方法の模索

(1) 本校が目指す資質・能力と単元開発 (2) 教科等横断的な学習課題とパフォーマンス課題の設定

(3) カリキュラムと「思考力」の評価の観点の模索

**活動内容：**各教科と総合的な学習をつなぐ未来思考科の単元開発、指導と評価の一体化

(1) 本校が目指す資質・能力の要素と教科等横断的な単元開発

(2) 開発した単元の全体配置(表1)と単元開発のメリット・デメリット

(3) 教科等横断的な学習課題のレベルの設定(図2) (4)パフォーマンス課題の具体的実践例(表2)

(5)ICEモデルを参考としたカリキュラム評価(図3) (6)ICEモデルを参考にした「思考力」の観点(表3)

**活動の成果：**生徒や保護者に実施した質問紙調査や生徒の成果物による考察

どの質問項目の平均得点も基準点3.0点よりも高く、未来思考科が各教科や総合的な学習の時間、さらには、日常生活の役に立つと答えている生徒が多かった。(図4)「未来予想図を学校に残そう」というテーマのもと、生徒が自ら興味のある課題を設定し、「未来の○○○」というテーマで自立的・協働的に探究活動を行うという計画で実践した。(図5)

**アピールポイント(アイディアや工夫)：**共に研究に取り組んだ職員の意見を紹介する。

教科の枠を超えること、自身のカリキュラム・マネジメントをより意識していこうと思いました。他教科で育成される力との関連を考えることによって、自分が担当している教科の本質がより一層見えていくのだと思いました。

<写真、図表添付欄>

図1：各教科との関わり

表1：単元の全体配置

授業担当者	単元数	週																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
国語1年	1	1年予備				1-1				1-2				1-3				1-4			
国語2年	1	2-1				2-2				2-3				2-4							
国語3年	1	3-1				3-2				3-3				3-4							
社会2年	1	2-1				2-2				2-3				2-4							
社会3年	1	3-1				3-2				3-3				3-4							
数学1年	1	1年予備				1-1				1-2				1-3				1-4			
数学2年	2	2-1				2-2				2-3				2-4							
数学3年	1	3-1				3-2				3-3				3-4							
理科1年	2	1年予備				1-1				1-2				1-3				1-4			
理科2年	1	2-1				2-2				2-3				2-4							
理科3年	1	3-1				3-2				3-3				3-4							
音楽	2	1-1				1-2				1-3				1-4							
美術	2	1-1				1-2				1-3				1-4							
体育1年	2	1年(共通題材)				2年(共通題材)				3年(共通題材)											
体育2年	2	1年(共通題材)				2年(共通題材)				3年(共通題材)											
技術	2	1-1				1-2				1-3				1-4							
家庭	2	2-1				2-2				2-3				2-4							
英語2年	2	1年(共通題材)				2年(共通題材)				3年(共通題材)											
英語3年	2	1年(共通題材)				2年(共通題材)				3年(共通題材)											

図2：学習課題のレベル

表2：開発した単元の学習課題のレベル

レベル	学習課題	資質・能力
Lv.5	震災の多い日本では、防災や復興のためにいろいろな対策を立てています。あなたが考える、「2080年の日本の防災対策」とはどのようなものか、学習成果発表会でプレゼンテーションしなさい。	各教科等総合学習特活
Lv.4	熊本の創造的復興について、アピールする3分程度のスライドショーをコンセプトに沿ってプロデュースしなさい。	音楽・美術 社会・技術
Lv.3	熊本の創造的復興に関して、適切な写真を選び、ポスターを制作しなさい。	社会 美術
Lv.2	震災後の熊本県は、どのような計画で、どのような地方自治を行っているだろうか。	社会
Lv.1	地方自治の仕組みとは何かを答えなさい。	

図3：ICEモデルを参考にした評価の観点

評価の観点	「思考力」の観点		
	知る・できる	つなぐ	生かす
評価の観点	○各教科等で学んだこと(知識・技能や概念等)のより深い理解	○各教科等で学んだこと同士をつなぐ ○未来思考科で学んだことと各教科等で学んだこととのつながり	○未来思考科や各教科等で学んだことをどのように実生活へ生かすことができるのかの理解 ○未来思考科で学んだことから新たに生まれた課題の認識
	○各教科等で学んでいない新しい知識・技能や概念等		
教師の問い方	Q「学習した内容はどんなことでしたか。」	Q「以前学習した内容や考え方のつながり(他教科とのつながり)は何でしたか。」	Q「学習した内容や考え方を、実生活や実社会にどのように生かすことができますか。」 Q「新たな課題は何かでできましたか。」
	内容を振り返る	つながりを振り返る	生かし方を振り返る

図4：質問紙調査の結果

質問項目	平均得点	コメント
あなたは、「主題・根拠・理由付け」を使うことは、学習や生活の場面で役に立つと思いますか。	4.23	
あなたは、個人で考えるよりもグループで考える方が、自分の思考力が高まると思いますか。	4.16	
あなたは、未来思考科の授業を通して、思考力・判断力・表現力は高まっていると思いますか。	4.12	
あなたは、各教科で学習したことが、未来思考科で学習したことに役に立ったという経験はありますか。	4.06	
あなたは、未来思考科の授業の中で、各教科で学習したことを使って活用しようと思いますか。	3.99	
あなたは、未来思考科の授業は学校生活や日常生活の場面で生かすことができると思いますか。	3.97	
あなたは、未来思考科の授業を通して、各教科や未来思考科で学んだことが実生活に役に立つと思いますか。	3.93	
あなたは、10の考え方(思考のキーワード)を覚えることで自分の考えが深まったり広がったりしますか。	3.89	
あなたは、未来思考科の授業は、教科の枠を超えて解決しようとする課題を持って、高水準な学びだと思いますか。	3.88	
あなたは、各教科で学習したことが、自分の生活に役に立ったという経験はありますか。	3.87	
あなたは、授業で10の考え方(思考のキーワード)を覚えることで考えたり表現したりしていますか。	3.87	
あなたは、先生から与えられた課題に対して見通しを持って課題に取り組むことができますか。	3.84	
10の考え方(思考のキーワード)を覚えることで他の考えがよくなりますか。	3.81	
あなたは、何かやるべきことを実行するときに計画を立てて行っていますか。	3.77	
あなたは、未来思考科で学習したことが、各教科で学習したことに役に立ったという経験はありますか。	3.74	
あなたは、授業で、「主題・根拠・理由付け」を使って、考えをまとめたり発表したりしていますか。	3.65	
あなたは、未来思考科の授業を通して、考えをまとめることが得意になりますか。	3.64	
あなたは、未来思考科の授業を通して、各教科の学習をもっと深く進めたいと思いますか。	3.62	
あなたは、一度立てた計画を途中で見直し、修正して実行していますか。	3.56	
あなたは、グループで何かを話し合うとき、みんなの意見を考えまとめることが得意な方ですか。	3.51	
あなたは、未来思考科で学習したことが、自分の生活に役に立ったという経験はありますか。	3.46	
あなたは、今までにない新しい発想で物事を考えることが得意な方ですか。	3.35	
あなたは、学習したことをよく振り返りますか。	3.28	
あなたは、10の考え方(思考のキーワード)をよく使えますか。	3.14	

図5：生徒の成果物